



林業

所属 中部林業事務所森林振興課

入庁年 2018年

異動歴 2018年 農林水産部森林課
2020年 北部林業事務所
2024年 中部林業事務所森林振興課

1 仕事の内容は？

林業職では、森林整備事業の補助金交付業務や、森林・林業に関する技術や知識等の普及業務から治山・林道工事や保安林整備の森林土木、林地開発の許認可等に関することまで、様々な業務に携わることができます。現在は、「中部林業事務所」で、普及指導員として、森林所有者や林業事業体、特用林産物生産者等に森林・林業に関する技術や知識の普及及び支援等を行うとともに、森林整備事業に関する補助金の検査等の仕事をしています。また、令和元年度から譲与が開始された森林環境譲与税の活用に係る管内5市への支援等も行っています。支援にあたっては、千葉県森林経営管理協議会等と連携し、森林環境譲与税の活用方法や他自治体における取組事例の収集等を行い、各地域に即した活用方法や事業が展開されるよう業務を行っています。

2 志望理由は？

私が千葉県職員を志望した理由は、大学で学んだ森林に関する知識を活かし、地元で地域に貢献したいと考えたからです。小さいころから自然と触れ合うのが好きで、千葉県の森林・林業に貢献したいという思いが強くなりました。

3 仕事のやりがいは？

事務作業だけでなく、森林整備や工事進捗の確認、現地調査など現場に出る機会も多く、林内を歩きながら森林や自然と触れ合えることが魅力です。また、千葉県はおいしいご飯屋さんが多く、出張の際のお昼ご飯も楽しみの一つです。

4 印象に残った仕事は？

森林・林業の普及活動のイベントは特に印象に残っています。どのように関心を引くか考えることが新鮮で、地域の方々に魅力を伝える難しさと楽しさを感じました。様々な意見を聞くことで課題の検討ができたとともに、自身の成長に繋がりました。

5 県職員として働くことで発見できた千葉県の新しい魅力は？

千葉県職員になって、県内のさまざまな場所へ行く機会が増えました。初めて行くような地域も多く、自分の知る千葉県はほんの一部だったと感じました。千葉県の北部や南部、九十九里側や東京湾側等、県内でも地域の違いで、自然環境や森林状況が異なることは、県職員として働いて新しく発見した千葉県の魅力だと思います。地域によって森林に求めている機能や需要が違うことはとても面白く感じています。

6 職場の雰囲気は？

若手職員からベテランの先輩方まで、様々な年齢の方がいますが、年齢に関係なく意見やアイデアを出し合える職場です。優しい方々ばかりで、一人で困っているときは、必ず手を差し伸べてくれます。若手職員の新しい意見や考えをベテランの方々の経験値でまとめてくれるバランスの取れた環境だと思います。

7 休日や退庁後の過ごし方は？

休日は、出張の際に発見したおいしいご飯屋さんや家族を連れて行ったり、友人と予定があれば、山登りに行ったり、映画鑑賞やスポーツ観戦等をしてリフレッシュしています。退庁後は、同僚や友人と食事に行くこともあれば、家に帰って編み物や筋トレ等、自分の趣味に時間を使っています。

8 一日のスケジュール

- 8:30 ● 出勤 メール確認やスケジュール調整
- 9:00 ● 森林整備事業の補助金申請に係る現地確認
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 現地確認の結果取りまとめ、補助金申請書類の内容確認
- 14:00 ● 森林環境譲与税活用に向けた市町村との打ち合わせ
- 16:00 ● 森林計画業務に関する問い合わせ対応
- 17:15 ● 退庁

